

一般社団法人日本顎関節学会 2021 年度事業報告書

I. 目的（定款第3条）

本法人は、会員相互並びに国内外の関連団体との交流を深め、顎関節学に関する基礎的及び臨床的研究、教育及び診療についての会員の能力向上を図るとともに、それにより地域社会における口腔の健康の維持と向上に貢献し、もって国民の健康と福祉の増進に寄与することを会員共通の目的として、次の事業を行った。

- (1) 学術大会の開催に関する事業
- (2) 研究発表会、講演会、講習会及び教育研修会などの開催
- (3) 機関誌、及びその他の出版物の刊行
- (4) 顎関節疾患、特に顎関節症の治療に関する専門医等の各種資格認定事業
- (5) 顎関節疾患、特に顎関節症の治療に関する研修機関等および研修制度の整備
- (6) 顎関節に関する研究者並びに医療・保健・福祉事業者の教育及び育成事業
- (7) 顎関節疾患に関する調査並びに合同研究
- (8) 国内外の顎関節治療関連団体との連携及び交流
- (9) 顎関節疾患に関する医療・保健・福祉情報の発信並びに啓発事業
- (10) 研究の奨励及び助成並びに研究業績の表彰
- (11) その他本法人の目的を達成するために必要な事業

II. 学術大会の開催に関する事業（定款第3条1項）

1. 第34回学術大会
 - 1) 会期：2021年10月23日（土）～11月23日（火）
 - 2) 形式：web開催
 - 3) 大会長：本田和也（日本大学歯学部歯科放射線学講座 教授）
 - 4) 参加者：700名（会員610名、準10名、名誉15名、非会員43名、医療スタッフ4名、学生10名、招待8名）
 - 5) メインテーマ：「顎関節の現在，そして未来へ」
 - 6) 演題：
 - ①企画演題
シンポジウム7題
教育講演4題
新認定医取得のためのセミナー1題
共催セミナー1題
 - ②一般演題
口演 19題
ポスター45題

●メインシンポジウム

「顎関節と隣接医学の現在，そして未来」

座長：本田和也、島田 淳

1. 顎関節疾患と脳神経外科疾患の鑑別—頭痛，顔面痛ほか— 平山晃康
2. 顎関節疾患と耳鼻咽喉科疾患の鑑別診断—症状からの検討— 丹羽秀夫、牧山康秀
3. Chronic Pain の多面的評価に基づく治療介入と健康寿命の延伸に向けた運動器の包括的な評価・介入（ASO コンセプト）について 松平 浩

●シンポジウム 1

「顎関節領域の慢性痛に対する医科歯科連携を考える」

共催：日本顎関節学会/日本口腔顔面痛学会共催シンポジウム

後援：厚生労働省 慢性仏痛診療システム普及・人材養成モデル事業（近畿地区）

座長：今村佳樹、石垣尚一

1. 歯科において精神科リエゾンをおこなってみてわかったこと 宮地英雄
2. 集学的痛みセンターと医科歯科連携におけるその役割 北原雅樹
3. 集学的な慢性仏痛診療における歯科の役割と課題 石垣尚一

●シンポジウム 2

「臨床医の会企画シンポジウム【顎関節症 II 軸（心理社会的要因）への対応をマスターしよう！】」

座長：和気裕之、澁谷智明

1. 認知行動療法の基本と臨床について—歯科患者の慢性仏痛への応用— 清水栄司
2. 顎関節症の心理社会的問題について—文献的な立場から— 山口賀大
3. 歯科におけるリエゾン診療について—リエゾン外来の経験を開業医として生かす— 仲井太心
4. 歯科医師による心理的介入—認知行動療法を顎関節症患者にどのように取り入れるか— 渡邊友希

●シンポジウム 3

「顎関節疾患の診断と外科治療～運動療法が奏功しない場合の対応について考える～」

座長：儀武啓幸

1. 運動療法を主体とした初期治療が奏功しなかった症例を考える 島田 淳
2. 難治性の顎関節症として歯科口腔外科に紹介された症例について 岡本俊宏
3. 変形性顎関節症に対する顎関節洗浄療法ならびに低侵襲な顎関節開放手術について 濱田良樹
4. 滑膜軟骨腫症，咀嚼筋世・世膜過形成症，筋突起過形成症の診断と治療 儀武啓幸

●シンポジウム 4

「現在から未来につなぐ顎関節疾患の臨床と研究～若手臨床家・若手研究者からのメッセージ～」

座長：松本邦史、廣瀬尚人

1. 顎関節症患者の下顎頭骨髄変化に対する MRI T2 mapping を応用した定量的評価の検討 重野健一郎
2. 顎関節症における関節痛の責任病巣は何か？～下顎頭の bone marrow edema に着目する～ 樋口景介
3. 認定医・専門医取得までの最短距離を走るために 山口賀大
4. 顎関節疾患において今後取り組んでいくべき研究とは 水口 一
5. 中枢におけるブラキシズム発現メカニズムの検討 飯田 崇
6. 筋突起過形成症による開口障害を正しく診断しよう 和気 創
7. 顎関節症円板障害 IIIa から IIIb への移行期における画像所見と治療 高原楠旻

●シンポジウム 5

「顎関節症と TMD—世界の潮流を知る—」 座長：小見山 道

1. TMD X diagnosis = DC/TMD 島田明子
2. 小児と青年のための DC/TMD 小見山 道
3. 顎関節上関節腔洗浄療法の世界的潮流 佐藤 仁

●シンポジウム 6

「オーラルフレイルにおける顎関節疾患の重要性」 座長：高野直久

1. オーラルフレイルと咀嚼機能 飯沼利光
2. 高齢者に対するオーラルフレイル検査としての顎関節疾患スクリーニング法の提案 玉置勝司
3. オーラルフレイルにおける口腔機能年齢（お口年齢）の活用 佐藤裕二

●教育講演・セミナー 1 歯科衛生士セミナー

座長：澁谷智明、高津匡樹

「歯科衛生士がどのように顎関節症と関わるか？」 佐藤文明

●教育講演・セミナー 2

座長：船登雅彦

「スポーツと顎関節」 武田友孝

●教育講演・セミナー 3

座長：島田 淳

「口腔機能発達不全症への対応と顎関節症予防との接点」 浜野美幸

●教育講演・セミナー 4

座長：藤田幸弘

「顎関節症と矯正歯科治療」 山田一尋

●新認定医取得のためのセミナー

「顎関節学会新認定医の取得を目指してみよう！」 塚原宏泰

●共催セミナー

「顎関節症治療の指針 2020 について」 小見山 道

Ⅲ. 研究発表会、講演会、講習会及び教育研修会などの開催（定款第3条2項）

1. 第52回学術講演会

開催日：2021年7月25日（日）

開催形式：web開催（zoom）

講師、講演内容

【顎関節症の専門治療】

パート1： 顎関節症の専門治療に必要な画像検査、画像診断

講師：小林 馨

パート2： 顎関節症の慢性の痛みに関する考え方

講師：小見山 道

パート3： 顎関節症の外科治療

（パンピングマニピュレーションおよび顎関節上関節腔洗浄療法の適応とその意義）

講師：大井一浩

パート4： 顎関節症の外科治療

（顎関節鏡視下手術および顎関節開放手術の適応とその意義）

講師：川上哲司

パート5： 顎関節症の心身医学・精神医学的対応

講師：和気裕之

参加者数：182名（会員171名、非会員3名、研修医6名、学部学生2名）

2. 第53回学術講演会

開催日：2022年2月13日（日）

開催形式：web開催（zoom）

講師、講演内容：

【顎関節症の痛みに関する最前線】

パート1：顎関節症の慢性の痛みに関する考え方

講師：小見山 道

パート2：顎関節症の痛み研究最前線

講師：岡本圭一郎

パート3：顎関節症の痛みと理学療法

講師：石垣 尚一

パート4：顎関節症の痛みと薬物療法（急性痛と慢性痛の対応の違いなど）

講師：村岡 渡

パート5：顎関節症の痛みと認知行動療法

講師：渡邊友希

参加者数：=141名（会員128名、研修医8名、学部学生1名、非会員3名、暫定指導医1名）

3. 第54回学術講演会

開催日：2022年5月22日（日）

開催形式：web開催（zoom）

講師、講演内容：

【顎関節症の基本治療が奏功しない場合の対応 - 外科治療を中心に -】

パート1：顎関節症診察、診断、基本治療の考え方

講師：小見山 道

パート2：基本治療が奏功しなかった症例を考える

講師：島田 淳

パート3：顎関節症として歯科口腔外科に紹介された症例について

講師：岡本俊宏

パート4：変形性顎関節症に対する顎関節洗浄療法ならびに低侵襲な顎関節開放手術について

講師：濱田良樹

パート5：滑膜軟骨腫症、咀嚼筋腱・腱膜過形成症、筋突起過形成症の診断と治療

講師：儀武啓幸

参加者数：138名（会員125名、非会員6名、研修医7名）

IV. 機関誌、及びその他の出版物の刊行（定款第3条3項）

●日本顎関節学会雑誌：4回発行（うち1回は大会抄録集）

第33巻2号（2021年8月発行）

第33巻特別号（第34回学術大会号）（2021年9月発行）

第33巻3号（2021年12月発行）

第34巻1号（2022年4月発行）

V. 顎関節疾患、特に顎関節症の治療に関する専門医等の各種資格認定事業 （定款第3条4項）

【新規認定】

<専門医および指導医>

2021年指導医、専門医試験を実施。

2021年11月7日（日）ステーションコンファレンス東京

11：00～12：00＝記述試験、13：15～14：25＝口頭試問

指導医4名、専門医3名を新たに認定。

<認定医>

●ポスタープレゼンテーション審査

実施日：2021年10月31日（日）

形式：web上で実施（zoom）

受審者7名中4名を合格、3名を条件付合格と判定した。

●講習会・筆記試験を2022年2月20日（日）9：00～14：50に実施。

形式：web上で実施（zoom） ※暫定指導医も同時に実施

講習会内容

顎関節の臨床解剖（解剖・口腔外科） 儀武啓幸

顎関節の画像診断（歯科放射線科） 五十嵐千浪

DC/TMDに準拠した顎関節症の診察（補綴） 小見山 道

初期診療ガイドライン（補綴：スプリント療法、開口練習） 山口泰彦

新認定医制度、専門医制度の説明 栗田 浩、高木律男

筆記試験

受験者20名中17名を合格、2名を条件付合格、1名を不合格と判定。

< 暫定指導医 >

2月20日の認定医講習会／試験と同時に実施し、受験者1名中1名を合格と判定。

< 研修機関 >

新規に研修施設1施設を承認。

【更新認定】

2021年12月31日が認定期限となる方々の資格更新審査を実施。

< 対象者および結果 >

- 専門医および指導医の両資格：
24名中23名が更新。内18名の更新を承認、1名を条件未達成により更新不承認、1名を更新申請なしにより更新不承認とした。4名を保留。
- 指導医：2名中2名が更新。2名の更新を承認。
- 専門医：38名中36名が更新申請。34名の更新を承認。2名を保留。2名は更新意思なし。
- 研修機関：55施設中35施設が更新。33施設の更新を承認。1施設を保留。1施設を更新条件未達成により不承認（代表指導医の暫定指導医資格更新が未達成）、20施設は更新意思なし。
- 暫定指導医：46名中23名が更新申請。内22名を承認。1名は条件未達成による不承認、23名が更新意思なし。
- 認定医：4名中4名が更新申請。4名の更新を承認。

VI. 顎関節に関する研究者並びに医療・保健・福祉事業者の教育及び育成事業

(定款第3条6項)

VII. 顎関節疾患に関する調査並びに合同研究（定款第3条7項）

VIII. 国内外の顎関節治療関連団体との連携及び交流（定款第3条8項）

IX. 顎関節疾患に関する医療・保健・福祉情報の発信並びに啓発事業（定款第3条9項）

- 学術大会の運営

X. 研究の奨励及び助成並びに研究業績の表彰（定款第3条10項）

- 令和3年度学会賞特別賞
久保田英朗
- 令和3年度覚道健治賞（最優秀学術奨励賞）
受賞者名：野澤道仁（昭和大学歯学部口腔病態診断科学講座歯科放射線医学部門）
受賞論文名：パノラマエックス線画像による変形性顎関節症の診断における深層学習システムの有用性（日本顎関節学会雑誌32巻2号）

XI. その他本法人の目的を達成するために必要な事業（定款第3条11項）